

2022
ファイナーレを飾る創作舞台

演劇 × クラシック × 和楽器 × バレエ



書 大橋洋之

2022

やまなしステージ・アート・プロジェクト2022

Sunday, January 15, 2023

Tokyo Electron Nirasaki Prefectural Culture Hall



前回公演の様子(2022.1.10)

舞音 2022

やまなしステージ・アート・プロジェクト2022

主催 やまなしステージ・アート・プロジェクト2022実行委員会

公益社団法人日本芸能実演家団体協議会

共催 株式会社ケイミックスパブリックビジネス

協力 保阪嘉内・宮沢賢治アザリア記念会、若尾バレエ学園

後援 韮崎市教育委員会

《スタッフ》

照明 立川直也(満平舎)

音響 若尾さとる

映像 吉川マツハスペシャル

舞台監督 平沢元彦

印刷デザイン 山田耕三 題字 大橋洋之

やまなしステージ・アート・プロジェクト2022実行委員会

委員長 成澤 千香子



新年あけましておめでとうございます。

ここで新年のご挨拶が出来るのも2回目となりました。一年の中で一番寒いこの時季に、皆様と共に山梨の舞台の幕開けを迎えられたこと、感謝と喜びに満ちています。

「やまなしステージアートプロジェクト」は、文化庁(大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業)の補助金を頂き、コロナ禍で急激に落ち込んだ地域の文化芸術活動を回復させ、鑑賞機会と地域の活性化を目的として行っております。

昨年わずか1公演で始まったプロジェクトですが、舞台に携わった仲間をはじめ、次々に輪が広がり、今年度は10公演を行うことになりました。昨年7月の山梨市花かげホールでの音楽劇を皮切りに、北杜市では森の音楽堂と八ヶ岳やまびこホール、身延山久遠寺本堂、南アルプス桃源文化会館、甲斐市双葉ふれあい文化館、甲府市では県民文化ホール、桜座、総合市民会館と繋げて参りました。

そして本日、韮崎文化ホールにてラストステージを迎えます。

それぞれの公演は、その地域に縁があるアーティストたちが出演し、地域の特色を活かした演目を行ったりと、様々な工夫を凝らし、全てオリジナルのプログラムで開催してきました。その中には、他では類を見ないコラボレーションが実現し、舞台芸術の新たな世界の拡がりを感じることが出来、まさに次代を垣間見る瞬間となりました。

本日の演目「銀河鉄道の夜の夢」は、宮沢賢治著「銀河鉄道の夜」を題材に、宮沢賢治の無二の親友、韮崎出身の保阪嘉内との生前のエピソードを重ね合わせた、今日の為に書き下ろされた新作となっています。演出には、甲府市出身の井上尊晶氏をお迎えし、脚本、作曲、出演者も全て山梨に縁のある方々です。子どもたちも井上氏の優しく熱心な指導を受け、日に日に成長してきました。

「響」は、西洋で生まれたバレエと和楽器の音色との融合で織りなす創作作品です。今回のPartⅢでは、今までとコンセプトは変えずに1部の演劇作品と共鳴した新演出となっています。

どちらの作品もプロジェクトの総力を挙げ、皆様にお届けいたします。

アートキャラバン事業として県内各地で公演を行ってきましたが、山梨県のみならず、地方の劇場などの施設では様々な問題を抱えている事実を目の当たりにする機会にもなりました。ホールはあるが予算がなく、自主開催をするにも人手不足。企画そのものを諦めてしまうことも。地方の舞台芸術は、人々の間で長年育まれ、それぞれの土地で生れた文化継承の一端も担い、子どもの教育はもとより、全ての人々に公平に心の充実をもたらす大切な位置づけにあると感じています。器を作ればいいってもんじゃない!と。

その様な環境の中でも、劇場や教育委員会、観光協会などの皆様に多くのご協力とご支援も頂き、10公演を開催することが出来ました。また、スタンプラリーでは3公演目から応募くださった方もおり、キャラバンと一緒に盛り上げ楽しんでいただきました。そして、文化庁との間に入り陰になり日向になり、全国の地方文化のために力を注いでくださる芸団協の皆様がいます。

ここに実行委員会を代表して皆様に心より御礼申し上げます。

本日の公演も最後までお楽しみください。

すっげえ1 創作劇「銀河鉄道の夜の夢」

プロフィール

《脚本》尾沢 明彦 (アドブレーション・共立・NTTファシリティーズ共同事業体)

《作曲・指揮》山本 雅一



作曲家。甲府市出身。作曲を藤原嘉文氏に師事。山梨大学大学院在学中に現代の音楽展入選('01)。以後、ピティナ新曲課題曲作曲賞('04,'05,'08)、東京国際室内楽作曲コンクール入選('10)、奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第一位('12)、朝日作曲賞(吹奏楽)入選('15)他。これまでにアルバム「まどろみの中で」('18)「Reborn」('22)をリリース。作品の多くは出版され、ピティナ・ピアノコンペティションや全日本吹奏楽コンクール等の課題曲としても採用されている。編曲も多く、「Dream Power ジョン・レノン スーパー・ライヴ」('12)や「オーボエ・アンサンブル「HAIM」」('13)等への参加を初め、様々な演奏家、団体に提供している。また、武満徹のポップソングを全て編曲、ピアノを担当した(ソプラノ:川口聖加)アルバム「タケミツソングス」('14)をリリース。独特な響きで原曲の新たな魅力を引き出すのを信条とする。近年は自身のYouTubeチャンネルで作品を公開し、Piascore、SheetMusicPlus、Bandcamp等オンラインでの作編曲作品、アナラーゼ楽譜等の発信に力を入れる。現在日本作曲家協会、ピティナ他会員。たまにピアノを弾いたり音楽講座を開く。 Web : <http://www.masakazuyamamoto.com>

《演出》井上 尊晶



©渡部孝弘

1970年生まれ。1987年に蜷川幸雄と出会い、最後の作品2016年「尺には尺を」まで演出助手を務める。2001年studioコクーン「カスパー」(ペーター・ハントケ作)にて演出家デビューし、その後、多くの作品の演出、演出助手を務める。
<舞台>2002年 studioコクーン「障子の国のティンカー・ベル」(野田秀樹作 鶴田真由主演) / 2005年 シスカンパニー「新編、吾輩は猫である」(宮本研作) / 2012年 さいたまゴールドシアター「白鳥の歌/楽屋」(チェーホフ/清水邦夫作) / 2018年 松竹「オセロー」(シェイクスピア作 中村芝翫主演) 新橋演舞場 / 2019年 関西ジャニーズ Jr.「少年たち 青春の光に」(松竹座) / 2022年9月「夏の夜の夢」(日生劇場) / 2013.15.19.22年 12月ホリプロ「スクルージ〜クリスマスキャロル」(市村正親主演)など。
<映像>2013年 ゆず「雨のち晴レルヤ」MV版(蜷川実花監督)にて劇中演出担当 / 2018年 WOWOW「宝塚ブルミエールLIVE2018」(東京JPタワー学術文化総合ミュージアム インターメディアテク 3月24日(土)放映)演出

キャスト

《出演》谷口 康平、佐野 剛、稲松 総一郎、白倉 裕二
碓井 輝、伊藤 裕基、永井 大喜、阿部 光佑
三浦 夢咲

《演奏》1stバイオリン:牛山 舞 2ndバイオリン:秋山 史
ビオラ:鈴木 葉子 チェロ:有泉 芳史
コントラバス:須藤 ヒサシ ピアノ:有泉 悠子



右の絵と次ページ背面の絵はマルソ役の阿部 光佑さんが「銀河鉄道の夜」の世界を描いてくれました。

「賢治と嘉内 みんなの幸せのために生きる 青春の誓いを心に刻んで」

保阪嘉内は1896年に(明治29年)山梨県北巨摩郡駒井村(現:韮崎市)に生まれ、宮沢賢治も同年に生まれる。

小さいころから農業への関心を持ち農作業をよく手伝う。1910年に山梨県立甲府中学校(現:山梨県立甲府第一高等学校)に進み、星の和名に詳しい野尻抱影に英語を教わり、甲府城から「ハレー彗星」のスケッチを描く。また文芸同人誌に作品を発表したり、弁論部に所属し理想の農村の姿を「美的百姓」「花園農村の趣味及び目的」などの弁論で発表する。

農学を志した後、盛岡高等農林学校農学科第二部に入学する。寄宿舎(自啓寮)では賢治と同室となり、嘉内が石川啄木に興味を持っていることを知った賢治は、入学直後に啄木の短歌に詠われた旧制盛岡中学校(賢治の母校でもある)校舎のバルコニーに嘉内を案内する。5月には寮の懇親会で自作の戯曲「人間のもだえ」を上演、賢治は「全智の神ダークネス」役で出演した。嘉内は賢治、小菅健吉、河本義行とともに、その中心メンバーとなり文芸同人誌『アザリア』を創刊し6号まで発行する。ここでは、詩、短歌、評論などを発表しあい、合評したりして創作の意欲を高めている。賢治と嘉内は一緒に岩手山に登り「みんなの幸せのために生きていこう」という誓いをしている。

しかし、1918年3月発行の第5号に寄稿した「社会と自分」という文章の中に、「今だ。今だ。帝室を覆す時は。ナイヒリズム」という一節があったことが問題視され、除名放校処分となる。学校を離れた後は手紙を通して心友としてそれぞれの生き方をぶつけ合い、叱咤激励し合う。

1918年(大正10年)7月18日上野の帝国図書館で二人は生き方を巡って激しい論争をしたとされるがその後も交友は続く。

賢治は農学校教師、羅須地人協会での活動、土壌改良、肥料設計などの農業指導等を行いながら詩、童話などの膨大な作品を残し37歳で亡くなる。

嘉内は故郷で自ら理想として掲げた花園農村の実現のため営農の傍ら農村指導者、新聞記者等の仕事に携わるが胃癌のため賢治の死後3年後41歳で亡くなる。

賢治作品の中には「銀河鉄道の夜」「風の又三郎」「月夜の電信柱」など嘉内との交流の中に影響を受けたものが見られる。

賢治と嘉内の交友の証として、嘉内宛の宮沢賢治からの手紙が73通残っている。



記者時代の嘉内 30歳前後



「アザリア」の仲間たち 1917(大正6)年 後列右から賢治、嘉内、前列右から河本、小菅

西暦
(元号)

1896 (明治29) 0歳	10月18日、山梨県北巨摩郡駒井村(現韮崎市)に地主の長男として生まれる。
1910 (明治43) 14歳	4月、山梨県立甲府中学校入学。 5月、ハレー彗星をスケッチする。
1913 (大正2) 17歳	作品「昨日他7篇」「鈴の音」「旅のしるし」「北への旅」など。
1914 (大正3) 18歳	同人誌「蘆」「巡礼」発行。 作品「煙他14編」、日記に短歌作品多数。弁論部に入会し「美的百姓」「農業と人」等を発表する。
1915 (大正4) 19歳	3月、甲府中学校卒業。 5月、東北大学札幌農科大学を受験(不合格)
1916 (大正5) 20歳	4月、盛岡高等農林学校農学科第二部に入学。自啓寮で賢治と同室になる。 5月、戯曲「人間のもだえ」を執筆し、寮の室友と演じる。 この年「短歌日記」に作品多数。
1917 (大正6) 21歳	7月1日、「アザリア」創刊8日宮沢・小菅・河本と岩手山まで徒歩旅行 7月14~15日、賢治と二人で岩手山に登る。 7月23日、秋父・甲斐・諏訪方面に地質旅行。 10月、弁論大会で「農村教育者としての伯トルストイ」を述べる。
1918 (大正7) 22歳	1月、ノート「ひとつのもの」 3月、盛岡高等農林学校を除名放校処分 4月、上京。明治大学に籍を置き受験勉強。6月、母いまだ去 11月、帰京。農業従事のための準備に入る。
1919 (大正8) 23歳	2月、「農人」として活動を開始。 8月~9月、帝国農会の青年指導者講習会に参加。 この年のノートは、「盛岡紀行」「新しき生命」「鑽石集」「奥美心」「秋の始めより」など。
1920 (大正9) 24歳	4月、一等兵になる。 11月、軍曹となり、満期除隊。 この年のノートは、「蹄鉄の塵」「軍隊日記」
1921 (大正10) 25歳	2月25日、山梨県教育書記になる。 7月18日、宮沢賢治と再会。激しく口論したと思われる。これ以降日記を中断。 9月30日、召集解除。
1922 (大正11) 26歳	2月、河本義行の「砂丘」に投稿。 3月、桂川電気興業会社書記となり、地質調査を行う。
1923 (大正12) 27歳	8月緑色のスクラップブックに、宮沢賢治、小菅健吉、河本義行の書簡を整理して貼り付ける。9月関東大震災の救援のため義捐物資を持って徒歩で東京に行く。
1924 (大正13) 28歳	8月、日本青年協会主催の青年指導者講習会に参加。農業伝習所設立の構想に憑かれる。10月宮沢賢治より「春と修羅」贈られる。
1925 (大正14) 29歳	3月、佐藤さかゑと結婚 5月、山梨日日新聞社を退社。その後1931年まで営農。 6月、賢治より「青春は教師を辞めて・・・」という内容の現存する最後の手紙が送られる。
1926 (大正15/ 昭和1) 30歳	1月、長男善三出生5年ぶりに日記を再開。 7月、青年訓練所開所。
1928 (昭和3) 32歳	2月、青年訓練所夜間学校で「わが友農民芸術家Mについて」講義。歌集「尖兵」の発行を計画するが、火災のため原稿もろとも焼失する。
1929 (昭和4) 33歳	3月、青年訓練所身延山行軍で「信仰文学・労働文学」の実例として宮沢賢治を語る。7月、駒井村の村会議員となる。また、農事組合長ほか各種の役職を引き受ける。
1930 (昭和5) 34歳	8月、日本青年協会主催の青年指導者講習会に参加。農業伝習所設立の構想に憑かれる。
1931 (昭和6) 35歳	田地を整理して離村。 10月、日本青年協会に勤務武蔵野道場主任
1932 (昭和7) 36歳	日本青年協会武蔵家庭学院講師兼任。この年から翌年にかけて全国の農村伝習所を視察する。6月、長男の病床で「グスコブドリの伝記」読み聞かせる。
1934 (昭和9) 38歳	4月、日本青年協会退職。ゾミノ酸醬油、砂鉄精練など農村副業の研究を行う。
1935 (昭和10) 39歳	2月、胃の不調を感じる。 4月、小石川区都市緑化計画臨時雇員となる。
1936 (昭和11) 40歳	2月、胃疾患が悪化。 11月、療養のため帰郷し、病臥。
1937 (昭和12) 41歳	2月8日、「人はこうして自然に帰って行くのだ。」の言葉を残し逝去。

出演



《宮沢賢治》
谷口 康平

「両親が地元で劇団を運営していたので、幼少期から演劇を見て育つ。
高校卒業後、はじめて舞台を経験し、その面白さに魅せられすぐに上京。
劇団昂演劇学校を卒業後、しばらく俳優活動をしていたが、30代で山梨県に移住。
現在は家族で野菜作りをしながら本に関わる仕事をしていく。今回は久々の舞台出演。



《阪阪嘉内》
佐野 剛

山梨県昭和町出身。江古田のガールズ(劇団)所属
【主な出演歴】《舞台》2022年 ゆうめい【あかあか】脚本・演出 池田亮 川崎市アートセンターアルテリオ小劇場 他/2021年 倉山の試み【盆栽II】脚本 小路祐史・演出 倉本朋幸 下北沢スターダスト/2020年 倉山の試み【夜だけがともだち】脚本・演出 ぶくだももこ 下北沢楽園/2018年 ハイバイ【て】脚本・演出 岩井秀人 東京芸術劇場 他/2015年~現在 江古田のガールズ舞台 全般 《映画》2021年【ずっと独身でいるつもり?】監督 ぶくだももこ 《ドラマ》2022年【就活タイムカプセル】(TBS)/2020年<土曜+1>【シンギュラリテT V2043】(BSフジ)/2019年【インハンド】第8話(TBS)
《CM》2021年【レノア超消臭スポーツ目隠し調査篇】(P&G)



《小菅健吉 他》
稲松 総一郎

本日はご来場頂きありがとうございます。
僕自身、銀河鉄道の夜は子供の頃から何度も読んできました。読むたびに見える情景も感じるものも変わっていくそんな物語でした。
阪阪嘉内の故郷で、宮沢賢治自身何度も書き直して紡いだこの物語を元に、今度は一人の表現者として作品を創り出すことには、緊張もあれば幸せもまたあります。
まだまだ先行きの見えない情勢は続きますが、そんな中でも皆様とこの劇場で一つの物語を共有できることを嬉しく思います。創作劇『銀河鉄道の夜の夢』最後までごゆっくりお楽しみください。



《河本義行 他》
白倉 裕二

山梨県北杜市高根町出身。21歳で三宅裕司主催の劇団スーパーエキセントリックシアターの劇団員として活動した後、フリー。在団中外部公演に多数出演。近年は作、演出、殺陣師としても活動しており、主に舞台活動をメインに映像制作なども行う。山梨県北杜市教育委員会主催の公演「八ヶ岳流星群」(長坂コミュニティステーション)では、脚本、演出、主演をこなし、2日間公演で約800人を動員した。
【主なテレビドラマ出演】NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」他、朝ドラ「ケゲケの女房」、CX「ガリレオII」、EX「俺の空」、「未来講師めぐる」、TBS「終電ハイバイ」他多数
《外部公演》東京グローブ座「ロミオとジュリエット」(主演、上田竜也)/NODA・MAP「フェイクスピア」他多数



《ジョバンニ》
碓井 輝

甲斐市立敷島北小学校 6年
山梨演劇サークル Life 所属



《カンパネラ》
伊藤 裕基

甲斐市立敷島北小学校 6年



《ザネリ 他》
永井 大喜

甲府市立甲府北新小学校 5年



《マルソ》
阿部 光佑

山梨大学教育学部
附属小学校 6年



《難破船の姉》
三浦 夢咲

中学校 1年
山梨演劇サークル Life 所属

演奏



《1stヴァイオリン》
牛山 舞

長野県長野市出身、甲斐市在住。3歳よりヴァイオリンを始める。東京音楽大学器楽学科ヴァイオリン専攻卒業。その後、同大学大学院科目履修にて学ぶ。2000年、チェコ国立ブラハ音楽院に留学。その間、ヴァイオリンをJ.フォルティン、ピアノをD.ペルラントヴァ各氏に師事。帰国後は数多くのコンクールにおいて実績を残す。ながのアスペン音楽祭にて原田幸一郎氏のマスタークラスを受講。また秋吉台室内楽セミナー、白馬ミュージックセミナー等にも参加。現在山梨、東京、長野においてソロ、室内楽、オーケストラでの演奏活動を行うとともに、後進の指導にも力をそそいでいる。これまでにヴァイオリンを故 田中千香土、大谷康子、海野義雄の各氏に師事。室内楽を久保陽子氏に師事。「アンサンブル・エクセル」、「アンサンブルFujii」各メンバー。



《2ndヴァイオリン》
秋山 史

国立音楽大学器楽科ヴァイオリン専攻卒業。故久保田良作、村松伸江、両氏に師事。
山梨県内にて室内楽の演奏活動、甲州市、垂崎市にてヴァイオリンの指導にあたる。やまなしジュニアオーケストラ講師。山梨学院小学校トワイライトスクール ヴァイオリン講師。甲府室内合奏団所属。

すっげえ1 創作劇「銀河鉄道の夜の夢」



《ビオラ》
鈴木 葉子

東京都立藝術高等学校卒業。東京音楽大学卒業。
大学在学中、給費奨学金を得てインディアナ大学へ短期留学。ハンガリー国立リスト音楽院へ留学。国際芸術連盟新人オーディションにて奨励賞並びに審査員特別賞受賞。第4回、かやぶき音楽堂デュオコンクールにて第3位。
2006年より三年間メキシコのアカデミア・ユリコ・クロスマにてヴァイオリン、ヴィオラ講師を勤める。メキシコ各地で演奏活動を行う。
帰国後は、ソロ、室内楽奏者として国内外で演奏活動をする他、後進の指導にあたっている。
自由学園非常勤講師。昭和音楽大学付属音楽教室講師。



《チェロ》
有泉 芳史

山梨県甲府市出身。17歳でドイツへ留学。2年後帰国し桐朋学園大学音楽学部ディプロマコース終了。その後渡仏してパリ・エコール・ノルマル音楽院チェロ科最高過程を取得し終了。同学院室内楽科で最高過程を取得し満場一致の1等を取得により演奏家特別クラスへ進級、卒業。同院に並行してパリ12区高等音楽院室内楽科卒業。同院卒業後チェロ科フランス・ブローニュ市コンセルヴァトワール地方国立音楽大学入学。卒業試験にて満場一致の1位にて研究過程に在籍、卒業。2000年フランスUFAM国際コンクールにて2位を獲得。現在日本各地でソロの他、室内楽メンバーの一員としても活動している。また日本各地でソロの指導の他に、山梨ジュニアオーケストラの指導、東京、愛知では室内楽教室を開講中。



《コントラバス》
須藤 ヒサシ

山梨県甲府市出身。コントラバスとエレキベースを弾きこなす音楽家。
洗足学園短期大学JAZZコース 卒業後、2002年よりプロの活動を開始する。JAZZ、POPS、BRAZIL音楽を中心に、レコーディングや、LIVEにて活動中。今までに、諫山実生、岩崎宏美、江原啓之、大橋トリオ、我那覇美奈、コトリンゴ、おおはた雄一、Saigenji、妹尾美穂、ハナフサマユ、土屋礼央、RAGFAIR、など多くのミュージシャンと共演する。2017年より活動拠点を山梨に移し、県内外で活躍中。2022年秋、自身のバンドWATER WATER CAMELが6年ぶりに活動再開。



《ピアノ》
有泉 悠子

山形県鶴岡市出身。東京音楽大学付属高校ピアノ科を経て、東京音楽大学を卒業。2004年ワルシワフィルメンバーの「プリマ・ヴィスタ」弦楽四重奏団と東京、ポーランドにて共演。現在、県内外で「Y-sound」「EnsembleEclairc」などの室内楽グループの一員として活動する。その他、甲府市の聖愛幼稚園専属ピアノ講師として、また自宅でも指導にあたり、各コンクールで全国大会に導き、最優秀指導者賞を授与されるなど後進の指導にも力を注いでいる。これまでにピアノを大瀧実花、三浦捷子、川上昌裕、杉谷昭了各氏に師事。ポーランドツアー中には、アンジェイ・ヤシンスキ、ピオトル・パレチニ各氏に指導を受ける。室内楽を岩崎淑、岩崎洗、青木十良各氏に師事。

深澤幸雄 版画作品



十字の歌



街頭で



灯



「春と修羅」より 序



「春と修羅」より オホソク挽歌



「春と修羅」より オホソク挽歌



「春と修羅」より 札幌市



「春と修羅」より 作品1040



「春と修羅」より 樺太鉄道



「春と修羅」より 青森挽歌



「春と修羅」より 雲とはんの木



「春と修羅」より 堅い理路



「春と修羅」より 肺炎詩編より



「星座」より 蠍座



凍れる歩廊 (ベーリング海峡)



「春と修羅」より 扉



「春と修羅」より コバルト山地

すっげえ2 バレエと和楽器の創作作品「響」partⅢ

プロフィール

《構成・演出・振付》石井 竜一



横浜市出身。八歳の頃から横瀬三郎にバレエを習う。1996年谷桃子バレエ団に入り以後、谷桃子、赤城圭に師事する。在団中、多くの作品に主演し振付も発表する。2004年退団。

退団以降、日本バレエ協会、井上バレエ団、バレエシャンプルウエスト等多くの公演で主演する。

2000年文化庁在外研修員としてボストンバレエに留学。2006年文化庁在外研修員アルビンエイリーダンスシアターを視察。

早い時期から振付を始め日本バレエ協会、井上バレエ団等で多くの作品を発表。2007年日本バレエ協会バレエフェスティバルにて「シャコンヌ」を発表し好評を得る。2019年には井上バレエ団にて「Sylvia」全幕を発表する。

現在、井上バレエ団常任バレエマスター、NBAバレエ団講師、コンクール審査員を勤める。

キャスト

《出演》浅田 良和、上野 天志、高村 明日賀、関 菜々美、大橋 日向子、大森 葉月

《演奏》尺八：岩間 龍山 和太鼓・打楽器：前田 タクヤ、山口 琳平

津軽三味線：福嶋 孝顕 チェロ：有泉 芳史 ピアノ：大嶽 香子

解説

この作品は2019年度のやまなし県民文化祭総合舞台のために制作しましたが、残念ながらコロナの影響で県内初の中止公演となりました。制作段階で若尾バレエ学園のコンサートで初演し、昨年この公演にてダンサーと曲を増やしリメイク。

今回、劇場が変わりダンサーや構成を変えて三度目の上演となります。コンセプトは和楽器、洋楽器、バレエ、コンテンポラリーダンスが、それぞれ個として存在し、互いに響き合うコラボレーション。構成は2人の男性が4人の女性一人一人に出会っていきます。まるで個性の違う星を旅する様に。

そして、その女性達との出会いから何か気付く時、近くに大切な者がいることを知る事になり、それぞれ先に進んで行く内容です。

韮崎にて上演する事を考えた今までは全く違う構成のオリジナル作品ですが、あまり難しく考えず当初のコンセプトでしたダンサー、音楽、照明などのコラボレーション作品として楽しんでいただけたら幸いです。

出演



浅田 良和

宮木登美、山内貴雄、小柴葉朕に師事。国内外のコンクールに於いて受賞歴多数。

英国ロイヤルバレエスクール、ウィーン国立歌劇場バレエ団研修生を経て、Kバレエカンパニーにソリスト入団『白鳥の湖』『くるみ割り人形』『シンデレラ』主演。都民芸術フェスティバル『コッペリア』『ラ・バヤデル』『ライモンダ』主演。スターダンサーズバレエ団『ジゼル』『くるみ割り人形』主演。井上バレエ団『くるみ割り人形』主演。2018年、年間で最も顕著な活躍をした舞踊家に贈られる「服部智恵子賞」受賞。
現在シンフォニーバレエスタジオ主催。



上野 天志

81年甲斐市生まれ。南部美紗子の元でダンスを始める。池田瑞臣や田中浪などの振付家の作品に出演する。04年、文化庁在外研修制度でフランスへ渡りコンテンポラリーダンスの他アフリカダンスやクラシックバレエを学ぶ。研修後は主にフランスでフリーランスのダンサーとして活動をする。ライム・ホーゲやパコ・デシナなどの振付家の創作活動に参加し、多くの作品に出演し主要なパートを踊る。ヨーロッパを中心に様々な国で踊る。

現在は拠点を日本に移し、主にキミホ・ハルハートの作品に出演。また時折り自身でも作品を創作し発表している。



高村 明日賀

(公社)日本バレエ協会正会員。
若尾バレエ学園にてバレエを始める。
2000年よりロシア国立モスクワバレエアカデミーに留学し、2004年卒業。
2005年より(公財)井上バレエ団に入団。「くるみ割り人形」雪の女王、「ジゼル」ミルタなど本公演にソリストとして多数出演。
若尾バレエ学園定期発表会をはじめ、バレエ協会主催舞台、県内の舞台活動にも数多く出演。
若尾バレエ学園、北麓の地域にて子供の指導にあたる。



関 菜々美

(公社)日本バレエ協会正会員。
若尾バレエ学園にて5歳よりバレエを始める。
Royal Academy of Danceのグレード試験・Intermediadeに合格。グレード7では100点満点で合格。
第30回・第32回全国合同バレエのタベ甲信越支部作品にてソリストを踊る。
第28回国民文化祭やまなし2013洋舞フェスティバル、高部尚子振付「Fry to moon after me」でソリストを踊る。
現在は舞台活動、若尾バレエ学園本校、支部スタジオで指導をしている。



大橋 日向子

(公社)日本バレエ協会正会員。
5歳より若尾バレエ学園でバレエを始める。若尾多香、成澤千香子に師事。若尾バレエ学園主催の60周年記念発表会で「シンデレラ」のタイトルロールを踊る。
県内の様々な舞台をはじめ、第28回国民文化祭2013年洋舞フェスティバル、全国合同バレエのタベ、日本バレエ協会都民フェスティバルなどに参加。Royal Academy of Dance Gread試験、Vocational Graded Syllabus Advanced2に合格。
2022年より公益財団法人井上バレエ団に入団。



大森 葉月

6歳から若尾バレエ学園にてバレエを始める。
Royal Academy of Dance gread1~8合格。
第28回国民文化祭2013洋舞フェスティバル、山梨県民文化祭、甲府市民文化祭などに参加。
2020年、若尾バレエ学園発表会にて「くるみ割り人形」金平糖の精を踊る。
第32回清里ワールドバレエ、山梨やるじゃんすっげえ舞台などに出演。

演奏



《尺八》
岩間 龍山

森田柁山・坂田梁山に師事。レコーディング、テレビ・ラジオ出演、映画音楽、尺八本来の古典曲から洋楽器、民俗楽器とのコラボレーションや現代邦楽など多彩なジャンルで演奏。和製ジャズユニット「風カラル時」では、NHKの大型企画「NHKスペシャル」のテーマ音楽、挿入曲で演奏。フジテレビ「奇跡体験!アンビリバボー」TBS「世界不思議発見」では挿入曲に採用される。映画「ナイトビープル」(出演:佐藤江梨子・北村一輝・杉本哲太ほか)では全編で演奏。また、やまなし大使としてPR事業にも協力、2012年にギネス認定を受けた「信玄公祭り」では祭りの総合音楽を制作にかかわり演奏。富士世界遺産センターへ楽曲提供した曲での演奏。NHK邦楽技能者育成会40期卒。都山流尺八師範。都山流尺八楽会地域代表者。都山流尺八楽会評議員。やまなし大使。尺八ショップ「禅」代表。



《和太鼓・打楽器》
前田 タクヤ

『全国和太鼓天野流』(宗家家元 天野宣)師範。
音楽ユニット『風カラル時』のメンバー。
アメリカ・ヨーロッパ諸国をはじめ世界各地でコンサートに出演。
現在作曲家・音楽監督としてもテレビ界など多方面で活動する。『信玄公祭り』の総合音楽の作曲制作を担当。
2019年文部科学大臣賞受賞。『やまなし大使』『笛吹き観光大使』



《和太鼓・打楽器》
山口 琳平

全国天野流準師範。
幼少期に全国天野流宗家家元 天野宣&阿羅漢の演奏に憧れ、和太鼓を始める。高校卒業と同時に阿羅漢のメンバーとして演奏活動を始める。
日本だけではなく、海外でのコンサートやイベント、テレビ、ラジオ、CM、などに出演。
演奏活動だけではなく、全国天野会を始めとした和太鼓チーム、保育園、小中高等学校などの指導も行っている。
天野宣音楽事務所所属
和太鼓「阿羅漢 - ARAHAN -」 和太鼓+炎舞「倭人」
天野宣音楽事務所太鼓教室講師



《津軽三味線》
福嶋 孝顕

山梨県笛吹き市出身。15歳で津軽三味線を始める。
2008年 津軽三味線奏者として本格的に活動を始める。
コンサート、各種イベント、テレビ、ラジオ、CM、海外公演、有名アーティストのPVなど多数出演。
津軽三味線全国大会において数々の賞を受賞。
2015年山梨県観光大使「やまなし大使」に就任。
2020年笛吹き観光大使に就任。
津軽三味線を山口ひろし氏に師事。
山梨県民謡を中心に民謡・端唄を藤本純秀氏に師事。
端唄を藤本秀禎氏に師事。
民謡藤本流 藤本純禎を襲名。



《チェロ》
有泉 芳史

山梨県甲府市出身。17歳でドイツへ留学。2年後帰国し桐朋学園大学音楽学部ディプロマコース終了。その後渡仏してパリ・エコール・ノルマル音楽院チェロ科最高過程を取得し終了。同学院室内楽科で最高過程を取得し満場一致の1等を取得により演奏家特別クラスへ進級、卒業。同院に並行してパリ12区高等音楽院室内楽科卒業。同院卒業後チェロ科フランス・ブローニュ市コンセルヴァトワール地方国立音楽大学入学。卒業試験にて満場一致の1位にて研究過程に在籍、卒業。2000年フランスUFAM国際コンクールにて2位を獲得。現在日本各地でソロの他、室内楽メンバーの一員としても活動している。また日本各地でソロの指導の他に、山梨ジュニアオーケストラの指導、東京、愛知では室内楽教室を開講中。



《ピアノ》
大嶽 香子

2003年、歌とピアノのユニット「ナチュラルハイ」としてメジャーデビュー。
川村結花、葉加瀬太郎、吉田兄弟など、多彩なジャンルの方々と共演。
楽曲提供(JUJU「YOU」etc.)や、劇伴制作(アニメ「パーテンダー」etc.)なども手がける。和製音楽ユニット「風カラル時」のメンバー。『やまなし大使』

企画① You can fly! Project 音楽劇「花音-かのん-と琴葉-ことは-」

夢と現実に葛藤する高校生二人の姿を、作詞作曲・ピアニスト小林真人の生演奏でつづった青春劇と、小林真人、山梨市出身若林秀和によるピアノコンサート

[1部] 小林真人ピアノコンサート ゲスト:若林秀和 [2部] 音楽劇「花音-かのん-と琴葉-ことは-」

[日 時] 2022年7月24日(日) 1回目 開演13:00/2回目 開演17:00

[会 場] 山梨市花かげホール

[出 演] 《劇団 あっちこっち》

小林真人

帯金ゆかり/優ひかる/稲松遥/稲松総一郎

若林秀和

《合唱団》

いさわ女声合唱団/八幡女声コーラス/敷島合唱団オーロラ

みさと混声合唱団/コンサート有志合唱メンバー

[主 催] アドブレン・共立・NTTファシリティーズ共同事業体

(株)ケイミックスパブリックビジネス

やまなしステージ・アート・プロジェクト2022実行委員会

公益社団法人日本芸能実演家団体協議会

[後 援] 山梨市教育委員会



企画② 高原の夏に薫る風「Summer Breeze in KIYOSATO」

山梨を拠点に活動し、多くのファンを持つ和風ジャズユニット「風カヲル時」、ヴァイオリニスト「牛山舞」、チェリスト「有泉芳史」による、「和」と「洋」のコラボレーションコンサート

[日 時] 2022年8月11日(木・祝) 13:30開場 14:00開演

[会 場] 清里の森 森の音楽堂

[出 演] 《風カヲル時》

岩間龍山(尺八)/大嶽香子(ピアノ)

前田タクヤ(和太鼓、ドラム)/林由恭(ベース)

牛山 舞(ヴァイオリン)

有泉芳史(チェロ)

[主 催] やまなしステージ・アート・プロジェクト2022実行委員会

公益社団法人日本芸能実演家団体協議会

[後 援] 清里の森音楽堂実行委員会



企画③ 「あなたの文化をみつけよう」真夏の音楽の祭典!

様々なコンサートと体験レッスンが集約した、“みて” “きいて” “ふれる”、音楽であふれる特別な3日間。

〔日 時〕2022年8月22日(月)・23日(火)・24日(水)

〔会 場〕YCC県民文化ホール 小ホール、リハ室、練習室

〔出 演〕《ライブパフォーマンス》

華道家:皆見龍治/書道:柿崎菜穂子/ヴァイオリン:大久保良明
チューバ:山本和邦/ユーフォニアム:小久保まい/フルート:伊東美紀
ピアノ:森山あす香・鈴木啓資・黒岩航紀・稲垣満有子・西川恵理香
二胡:こたにじゅん/ギター:根岸哲也/打楽器:曲淵俊介

《ワークショップ》

ミュージカル体験:久保田智子

金管塾in甲府:小久保まい/山本和邦

《ワンコインレッスン講師》

森山あす香/久保田智子/鈴木啓資/黒岩航紀/小久保まい
曲淵俊介/山本和邦/こたにじゅん/根岸哲也/大久保良明
伊東美紀

〔主 催〕学校法人伊藤学園 甲斐清和高等学校音楽科
アドブレーション・共立・NTTファシリティーズ共同事業体
やまなしステージ・アート・プロジェクト2022実行委員会
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会



企画④ 劇団ホワイトチョコが好き。「まほろば」

「この村の御輿ってさあ、なんで女は担いだらだめなの？」

とある祭りの夜、田舎町のかつて地元の名家として知られた藤木家に突如集った6人の女たち。

2009年に書かれ、第53回岸田國土戯曲賞を受賞した名作戯曲

〔日 時〕2022年9月17日(土) 1回目14:00/2回目19:00

18日(日) 3回目14:00

〔会 場〕桜座

〔作 〕蓬萊竜太

〔演 出〕廣瀬響乃

〔出 演〕植田芽里/田村里音/月野小雪/廣瀬響乃

山岸恵美子/和田奈都木

〔主 催〕劇団ホワイトチョコが好き。

やまなしステージ・アート・プロジェクト2022実行委員会
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会



企画⑤ 継続の第一章 組曲「品・HON」

750年の長きにわたり歴史を紡ぐ身延山久遠寺。その久遠寺の本堂にこの日のために書き上げた創作組曲「品・HON」を演奏。日本の伝統楽器、三味線、尺八、琴、和太鼓に小編成のオーケストラとコンテンポラリーダンスを融合させ、法華経の世界を美しく、壮大に表現。

- [日 時] 2022年10月2日(日) 18:00開演
[会 場] 身延山久遠寺 本堂
[作 曲] 西村香李
[出 演] 秋山史(ヴァイオリン)/牛山舞(ヴァイオリン)
田中愛子(ヴィオラ)/有泉芳史(チェロ)
須藤ヒサシ(コントラバス)/福嶋孝顕(津軽三味線)
一瀬星山(尺八)/常磐琴音(箏)/山口琳平(和太鼓)
上野天志、永野沙紀(ダンサー)
[主 催] やまなしステージ・アート・プロジェクト2022実行委員会
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会
[共 催] 身延町身延山観光協会
[後 援] 身延町



企画⑥ 音楽&空手&マジックの融合「やるじゃん山梨! 希望の舞台」

ピアノと弦と歌の室内楽団に、空手演武、ステージマジックとイリュージョン、パイプオルガンを使った新たなるアートパフォーマンスへの試み。

- [日 時] 2022年10月10日(月・祝) 14:00開演
[会 場] 桃源文化会館
[出 演] 《アンサンブルFUJI》
有泉芳史(チェロ)
牛山舞・内野佑佳子・福田勝太(ヴァイオリン)
大黒谷宏昌(コントラバス)
前原加奈(ソプラノ)/有泉悠子(ピアノ)
西村香李(オルガン)/水野翔(マジシャン)
《長谷川空手スクール団員》
<塾長>長谷川伸一(師範)
萩原昌志、古屋日々起、森亮治、大木格、五味優香、磯部光希
福田崇、大村龍星、大西秀明、長谷川由美(師範)、平林沙織
大村翔聖、宮川千代
[主 催] YS-comfort
やまなしステージ・アート・プロジェクト2022実行委員会
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会
[後 援] (一財)桃源文化振興協会



企画⑦ 和楽器ユニットバンド「風カヲル時」×「木ノ花」～シンラバンショウ～

尺八、和太鼓、ピアノ、ベースからなる和風ジャズバンド「風カヲル時」と日本の美しい四季折々の風景や幻想的な神話を題材にしたオリジナル楽曲を持つ津軽三味線、ヴァイオリン、ピアノからなる「木ノ花」。和と洋の垣根を超えた異色のサウンドをお届け。また、本公演のためのコラボ曲を発表。

- [日 時] 2022年10月23日(日) 14:00開演
[会 場] 八ヶ岳やまびこホール-高根ふれあい交流ホール
[出 演] 《風カヲル時》
岩間龍山(尺八)、前田タクヤ(和太鼓)、大嶽香子(ピアノ)
林由恭(ベース)
《木ノ花》
福嶋孝顕(三味線)、野武大誠(ヴァイオリン)
石崎雅菜(ピアノ)
[主 催] やまなしステージ・アート・プロジェクト2022実行委員会
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会
[後 援] 北杜市教育委員会



企画⑧ 伸太郎×フィーリング・ジャズ・オーケストラ 大人のクリスマス

甲府市出身のシンガーソングライター伸太郎とビッグバンドジャズグループ「フィーリング・ジャズ・オーケストラ」によるコラボライブ。今回のために新たに製作した共演曲も発表。

- [日 時] 2022年12月4日(日) 14:00開演
[会 場] 甲府市総合市民会館 芸術ホール
[出 演] 伸太郎
フィーリング・ジャズ・オーケストラ
〈トランペット〉深沢英樹、平川充、高木貴恵、高木秀訓
東福寺正男
〈トロンボーン〉鈴木学、平松朋広、手川高彰、荒内才大
〈サクソ〉桐野学、保延大二郎、岸本浩二、櫻井みなみ
岩窪和行、林久富
〈ピアノ〉雨宮一博／〈ドラム〉秋山優／〈ベース〉古屋進
〈ギター〉小林博任／〈ボーカル〉小林里花
[主 催] やまなしステージ・アート・プロジェクト2022実行委員会
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会
[共 催] 甲府市総合市民会館



企画⑨ PARALLEL DANCE WORLD JAPAN

過去から現代・・・各時代のアイテムを手にダンサーたちが、奇抜な衣装や幻想世界、近未来、ファンタジー要素をまとい“POPな違和感”を表現！ダンスと音楽、ヤングカルチャーで魅せるダンスエンターテインメント。

- [日 時] 2022年12月18日(日) 1回目14:00開演／2回目18:00開演
 [会 場] 甲斐市双葉ふれあい文化館
 [出 演] 篠原まな(JAZZ)／さがらまみ(JAZZ)／UEN(BREAK)
 KASUMI(コンテンポラリー)／DAICHI(LOCK)／MOZK(POP)
 武藤原澤組(社交)／安本七海・大森葉月(バレエ)
 花柳徳吉・花柳和貴奈(日本舞踊)／TIARE TOA(フラ、タヒチアン)
 《アンサンブル》
 広瀬真由子・君嶋青空(JAZZ)
 MASATO・Funky.monkee(ブレイキン)／穴山大雅・森田亮一(POP)
 RINKA・NOA・nanami・nona(ロック)
 渡辺佐和・渡辺多恵・大森ふさこ・大森夏帆・大森ほのか・栗原さゆり
 栗原心・塩島真由子・川島ゆかり・石川元子・石川日菜・青山茂美
 森田真由美・菅沼心桜・大須賀富美香・中村みどり(フラ、タヒチ)
 [主 催] やまなしステージ・アート・プロジェクト2022実行委員会
 公益社団法人日本芸能実演家団体協議会
 [共 催] 甲斐市双葉ふれあい文化館／(公財)やまなし文化学習協会
 [後 援] 甲斐市教育委員会



やまなしステージ・アート・プロジェクト2022 ステージキャラバンMAP

- ① 2022年7月24日(日)
You can fly! Project 音楽劇「花音-かのん-と琴葉-ことは-」 山梨市・花かげホール
- ② 8月11日(木祝)
高原の夏に薫る風「Summer Breeze in KIYOSATO」 清里の森 森の音楽堂
- ③ 8月22(月)～24日(水)
あなたの文化をみつけよう! 真夏の音楽の祭典! 甲府市・YCC県民文化ホール
- ④ 9月17(土)・18日(日)
劇団ホワイトチョコが好き。「まほろば」 甲府市・桜座
- ⑤ 10月2日(日)
継続の第一章 組曲「品・HON」 身延町・身延山久遠寺
- ⑥ 10月10日(月祝)
音楽&空手&マジックの融合「やるじゃん山梨! 希望の舞台」 南アルプス市・桃源文化会館
- ⑦ 10月23日(日)
和楽器ユニットバンド「風カヲル時」×「木ノ花」～シンラバンショウ～ 北杜市・八ヶ岳やまびこホール(高根ふれあい交流ホール)
- ⑧ 12月4日(日)
伸太郎×FJO(フィーリング・ジャズ・オーケストラ)大人のクリスマス 甲府市・甲府市総合市民会館
- ⑨ 12月18日(日)
Parallel DANCE World JAPAN 甲斐市・甲斐市双葉ふれあい文化館
- ⑩ 2023年1月15日(日)
山梨やるじゃん すっげえ舞台2022 韮崎市・東京エレクトロン韮崎文化ホール



やまなしステージ・アート・プロジェクト2022 ステージキャラバン 主なスタッフ

企画① You can fly! Project 音楽劇「花音-かのん-と琴葉-ことは-」

照明 田中吉雄((有)アクトワン)
音響 小林博((有)アクトワン)
作・演出 帯金ゆかり
協力 加藤淳、大西葵((株)ケイミックスパブリックビジネス)
制作 後藤久美子(アドブレーション・共立・NTTファシリティーズ共同事業体)

企画② 高原の夏に薫る風「Summer Breeze in KIYOSATO」

編曲 大嶽香子
照明 中島朋彦
音響 山内克津直
印刷デザイン 山田耕三
協力 坂本信也((株)清里の森管理公社)
制作 加藤信一(アドブレーション・共立・NTTファシリティーズ共同事業体)

企画③ 「あなたの文化をみつけよう」真夏の音楽の祭典!

舞台 (有)アクトワン
照明 (有)アクトワン
音響 (有)アクトワン
舞台進行 後藤久美子
印刷デザイン 北田京子
企画 飯室珠帆(甲斐清和高等学校)
制作 岩下千尋(アドブレーション・共立・NTTファシリティーズ共同事業体)

企画④ 劇団ホワイトチョコが好き。「まほろば」

舞台 加藤信一(アドブレーション・共立・NTTファシリティーズ共同事業体)
大槻一夫、稲松総一郎
照明 大槻一夫
音響 内田匠哉、(有)ヤマナシイベントサービス
映像 桜座
演出 廣瀬響乃
協力 田村和沙、(株)ブレイン ほか
印刷デザイン 藤尾勘太郎
制作 後藤久美子(アドブレーション・共立・NTTファシリティーズ共同事業体)
小野諭佳梨

企画⑤ 継続の第一章 組曲「品・HON」

作曲 西村香李
照明 中西すみえ
音響 小口賢司
舞台美術 石原三千代
プロデュース 岩間龍山
印刷デザイン UTY企画
制作 川野千佐(UTYテレビ山梨)

企画⑥ 音楽&空手&マジックの融合「やるじゃん山梨! 希望の舞台」

作・編曲 有泉芳史
照明 秋山啓(桃源文化振興協会)
音響 秋山健二(桃源文化振興協会)
舞台演出 有泉芳史
衣裳 しおみえりこ
舞台監督 大槻一夫
印刷デザイン 有泉芳史
制作 有泉芳史

企画⑦ 和楽器ユニットバンド「風カラル時」×「木ノ花」～シンラバンショウ～

編曲 大嶽香子、野武大誠
照明 (株)グルービー
音響 (株)グルービー
舞台監督 加藤信一(アドブレーション・共立・NTTファシリティーズ共同事業体)
印刷デザイン 小池勇貴
制作 福嶋孝顕

企画⑧ 伸太郎×フィーリング・ジャズ・オーケストラ 大人のクリスマス

照明 高松公男
音響 山本高広
舞台監督 平沢元彦
印刷デザイン 山田耕三
運営 望月由紀(甲府市総合市民会館)
制作 成澤千香子(若尾バレエ学園)

企画⑨ PARALLEL DANCE WORLD JAPAN

照明 Auxilia(AUX)
音響 (株)ビーフリー
特効 (有)アクトワン
衣裳 岡世詩子
コラボ振付 篠原まな、さがらまみ
日本舞踊振付 花柳都紫宝
舞台監督 土屋貴司
ダンス指導 DAICHI
協力 田村和沙
山梨演劇サークルLife
印刷デザイン 大森将平
総合演出・企画・制作 篠原まな

企画⑩ 山梨やるじゃん すっげえ舞台2022

1部「銀河鉄道の夜の夢」

脚本 尾沢明彦(アドブレーション・共立・NTTファシリティーズ共同事業体)
作曲・指揮 山本雅一
演出 井上尊晶
衣裳 田村和沙
岩下千尋(アドブレーション・共立・NTTファシリティーズ共同事業体)
制作 平沢元彦

2部「響 partⅢ」

構成・演出・振付 石井竜一
衣裳制作 終倉
衣裳デザイン 石井麻衣
制作 成澤千香子(若尾バレエ学園)

照明 立川直也(満平舎)

音響 若尾さとる
映像 吉川マッハスペシャル
大道具 ユニ・ワークス
舞台監督 平沢元彦
印刷デザイン 山田耕三
題字 大橋洋之
協力 保阪嘉内・宮沢賢治 アザリア記念会
山梨県立美術館
吉田路子
若尾バレエ学園
総合監修 成澤千香子(若尾バレエ学園)

企画⑩ スタンプラリー

運営 田村和沙、野中瞳

やまなしステージ・アート・プロジェクト2022 実行委員会

委員長 成澤千香子
副委員長 有泉芳史
委員 雨宮一博
篠原まな
加藤信一



おひがえ舞台 2022